令和7年2月犬山市議会定例議会会議録

第2号 2月27日(木曜日)

*****

◎議事日程 第2号 令和7年2月27日午前10時開議

第1 第5号議案から第7号議案まで

及び第27号議案から第34号議案まで

(議案質疑、委員会付託、委員長報告、同報告に対する質疑、討論、採決)

第1類 第5号議案から第7号議案まで

及び第34号議案

第2類 第27号議案

第3類 第28号議案から第33号議案まで

*****

◎本日の会議に付した案件

日程第1 第5号議案から第7号議案まで

及び第27号議案から第34号議案まで

*****

◎出席議員(18名)

1番	丸山幸治君	10番	玉置幸哉君
2番	ビアンキ恵子君	11番	岡覚君
3番	増田修治君	12番	岡村千里君
4番	光清毅君	13番	鈴木伸太郎君
5番	小川隆広君	14番	沼靖子君
6番	島田亜紀君	15番	久世高裕君
7番	諏訪毅君	16番	柴山一生君
8番	小川清美君	17番	柴田浩行君
9番	畑竜介君	18番	大沢秀教君

*****

◎欠席議員(なし)

*****

◎職務のため出席した事務局職員の職・氏名

議会事務局長	長谷川敦君	議事課長	大鹿真君
主査	石黒絵美君		

*****

◎説明のため出席した者の職・氏名

市長	原欣伸君	副市長	永井恵三君
教育長	滝誠君	経営部長	井出修平君

市民部長兼防災監	武内雅洋君	健康福祉部長	高木衛君
子ども・子育て監	小幡千尋君	都市整備部長	森川圭二君
都市整備部次長	丸井良修君	経済環境部長	新原達也君
教育部長	中村達司君	消防長	大澤満君
企画広報課長	古田隆行君	経営改善課長	兼松光春君
総務課長	舟橋正人君	情報政策課長	上原敬正君
地域協働課長	中村亘君	多様性社会推進課長	小笠原健一君
防災交通課長	伊藤修君	市民課長	吉田高弘君
税務課長	百武俊一君	福祉課長	山本直美君
障害者支援課長	奥谷雪江君	高齢者支援課長	前田敦君
保険年金課長	舟橋きよみ君	健康推進課長	水野嘉彦君
子育て支援課長	青山貴一君	子育て支援課主幹	中村美和君
子ども未来課長	上原眞由美君	子ども未来課主幹	伊藤真弓君
子ども未来課主幹	神林宏之君	都市計画課長	高木誠太君
都市計画課主幹	一柳佳誉君	整備課長	高橋秀成君
土木管理課長	吉田昌義君	水道課長	梅村幸男君
下水道課長	五十嵐康君	環境課長	高橋正直君
産業課長	山崎直人君	観光課長	小池信和君
学校教育課長	西村岳之君	学校教育課主幹	鈴木早智君
文化推進課長	大黒澄子君	スポーツ交流課長	坂野隆幸君
歴史まちづくり課長	加藤憲夫君	消防次長兼消防署長	安藤和重君
消防総務課長	村山弘泰君		

*****

午前10時00分 開議

◎議長（柴田浩行君） ただいまの出席議員は、18名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

議事日程に従いまして、会議を進めます。

*****

日程第1 第5号議案から第7号議案まで及び第27号議案から第34号議案まで

◎議長（柴田浩行君） 日程第1、第5号議案から第7号議案まで及び第27号議案から第34号議案までを議題といたします。

お諮りいたします。

第5号議案から第7号議案まで及び第27号議案から第34号議案までを一括議題とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認め、さよう決しました。

これより議案質疑に入りますが、審議の都合上、配付いたしました議事日程に記載のとおり、これを3つに分類し、質疑を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認め、さよう決しました。

最初に、第1類、第5号議案から第7号議案まで及び第34号議案に対する質疑を行います。
ご発言を求めます。

5番 小川隆広議員。

◎5番（小川隆広君） 5番、小川隆広です。私からは第7号議案、犬山市職員の給与に関する条例等の一部改正について、こちらのほうから1点、質疑をさせていただきたいと思えます。

全員協議会資料13ページから15ページですが、その中で14ページのほうをご覧いただきたいと思えます。

令和6年度の影響額ということで記載がありますが、こちらのほうを見ていただきますと、一般職員、再任用職員、当然給与に対する影響額がありますが、会計年度任用職員のところには影響額がありません。この点についてなんですけど、時系列のこともありますので、1点、質疑のほうをお許しいただきたいと思えます。

令和6年6月の定例議会の中で、私どもの岡議員の質問に対して、こういった会計年度任用について、遡及の関係にはなるんですが、年度内に正規職員と同等の給与表に置き換えるために、条例等の改正をして、それから次年度の新給与表に切り替えていくといったことで記載があって、今そういった中身で進めていただいておりますということで、今議会では第9号議案、こちらのほうで提案がされているというふうに思っております。

しかしながら、昨今の物価高騰だとか遡及額のほう、一般職員のほうを見ますと、とりわけここに記載がない、これについて違和感を覚えております。

本来、公務員の給与、これについては不利益不遡及の原則はありますよと。しかしながら、人事院勧告については、もうこの方法でなければ合理的に改正はできないということも、こちらは令和4年5月議会で岡村議員に対する経営部長が答弁しております。そういったことからすれば、来年度を待たずして、本来にはここに影響額が記載があるべきだというふうに考えるんですが、当局のこういったところの見解を伺いたいのと、例えば仮に、今年度遡及で逆効果となるようなことがある、そういったような事例があるということがあれば、その点だけお伺いしたいというふうに思えます。よろしくお願ひします。

◎議長（柴田浩行君） 当局の答弁を求めます。

井出経営部長。

◎経営部長（井出修平君） ご質疑にお答えします。

当市におきましては、令和2年度に会計年度任用職員制度を新設してから、これまで独自の給料表を使ってきたということから、国から遡及の手法が示されていないこと、1人で複数の任用契約を持っていることなど、その場合、円未満の取扱いや在職期間の取扱いなど、詳細な算出方法の決定が難しい現状でございます。

令和6年6月議会で、今お話ありましたとおり、岡議員からの会計年度任用職員の処遇改善について、人事院勧告による正規職員と同様の差額支給が必要ではないかとの一般質問に対し、市としても同じ考えで、会計年度任用職員の処遇改善について、重要な課題であると

認識しており、今年度に給料表の見直し、来年度より人事院勧告に基づく差額支給に対応していく旨をお答えしています。これまでそれに従って作業を進めてきたところでございます。

今議会において、人事院勧告に基づく遡及適用が可能になるよう議案を提出していただき、お認めいただければ、会計年度任用職員に適用している給料表を独自の給料表から、正規職員と同様の給料表に切替えいたします。

現行の給料表と新給料表は全く異なる給料表であり、号給が対応していないため、令和7年度から新給料表に切り替えるに当たり、愛知県内全市の各職種における報酬単価の調査をした上で、改めて当市における報酬単価を検討するとともに、人事給与システムの改修、設定の変更を行い、報酬等が正しく支給可能かどうか、様々なパターンを想定して検証を行っており、令和7年4月1日の施行に向け、計画どおり進めているところでございます。

なお、今年度遡及適用することで、逆効果となる事例につきましては、税扶養から外れてしまう、社会保険の扶養から外れてしまう、配偶者の事務所において扶養手当の支給対象外となるなどが挙げられますが、対象者については加入している健康保険の種類、世帯の状況、他の事業所などでの就業など、職員ごとに状況が異なるため、個別に調査しない限り人数の把握は困難でございます。

参考までに令和6年中の収入について、103万円未満だった職員は328名で、その中で遡及により逆効果となる事例はあると考えています。

以上です。

◎議長（柴田浩行君） 小川議員。

◎5番（小川隆広君） 答弁ありがとうございました。またこれ以上のことは、また第9号議案のほうで質疑をさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

◎議長（柴田浩行君） 他に質疑はございませんか。

〔「なし」の声起る〕

◎議長（柴田浩行君） 質疑なしと認めます。

よって、第1類、第5号議案から第7号議案まで及び第34号議案に対する質疑を終わります。

続いて、第2類、第27号議案に対する質疑を行います。

ご発言を求めます。

10番 玉置議員。

◎10番（玉置幸哉君） 私からは第27号議案、令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）について、1点お尋ねをしたいと思っております。

事項別明細書の2ページのほうをご覧くださいと思います。

第1表歳入歳出予算補正、歳入のところの2段目、地方譲与税のところ、地方揮発油譲与税と、その下の自動車重量譲与税のところの補正額なんですけども、今年度は一番のほうで400万円減額、そして2番のほうは1,500万円の減額ということになっております。昨年同時期の数字を確認をしたところ、1番のほうの揮発油のほうでマイナス223万円、2番のほうの自動車重量税のほうはプラスで1,250万円という数字が上がっておりました。これ大きく差があるところもあるんですけども、こういった要因でということをお聞かせいただ

きたいと思います。

◎議長（柴田浩行君） 当局の答弁を求めます。

井出経営部長。

◎経営部長（井出修平君） ご質疑にお答えします。

地方揮発油譲与税につきましては、原資はいわゆるガソリン税で、市町村道の延長と面積の案分によって配分されるものです。補正予算として406万5,000円を減額していますが、これは6月と11月に交付された金額と、令和5年度の実績を用いて、機械的に算出したものでございます。

補正後の金額は、令和5年度の決算額より低くなります。これは燃料費高騰の影響による外出控えや、車での移動を控えたということが結果ではないかと考えております。

それから、自動車重量譲与税につきましては、原資は車両の新規登録時と車検時に負担する税金で、市町村道の延長と面積の案分によって配分されるものです。

補正予算として1,558万8,000円を減額していますが、これは6月と11月に交付された金額と、令和5年度の実績を用いた機械的な算出によるものです。

補正後の金額は、令和5年度の決算額よりも低いということになります。新車販売台数が減少したということが原因になっているんじゃないかというふうに推測しております。

いずれも県と国の試算に基づいておりまして、最終的な比較は決算でという形になると思います。

以上です。

◎議長（柴田浩行君） 他に質疑はございませんか。

5番 小川隆広議員。

◎5番（小川隆広君） 5番、小川隆広です。私からも第27号議案、令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）から1点、質疑をさせていただきたいと思います。

全員協議会資料の193ページになります。歳入の15款2項1目1節と2節になるんですが、社会保障・税番号制度システム整備国庫補助金、それと、マイナンバーカード交付事務費国庫補助金、こちら両方とも大幅な減額補正ということなんですが、これについてどういったふうだったのか理由のほうをお伺いしたいと思います。

◎議長（柴田浩行君） 当局の答弁を求めます。

武内市民部長兼防災監。

◎市民部長兼防災監（武内雅洋君） それでは、小川隆広議員の質疑にお答えをします。

まず、社会保障・税番号制度システム整備費国庫補助金ですが、こちらは補助対象となる戸籍の振り仮名記載に伴うシステム改修費の減額によるものです。

内訳としましては、仮振り仮名取得対応が111万1,000円、住民基本台帳システムコンビニ対応が305万8,000円、戸籍附票への旧氏職権記載が801万3,000円、仮振り仮名一括記載対応が350万9,000円で、合計1,569万1,000円の減額となります。

次に、マイナンバーカード交付事務費国庫補助金ですが、こちらは補助対象となるマイナンバーカード申請交付対応のための委託料が、委託期間の変更により1,562万円減額するものです。

以上です。

◎議長（柴田浩行君） 他に質疑はございませんか。

13番 鈴木伸太郎議員。

◎13番（鈴木伸太郎君） 13番、鈴木です。私から第27号議案、令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）から1件、質疑させていただきます。

事項別明細書の58、59ページです。全員協議会資料だと218ページ、農林業費5款1項3目の農業振興費で、県支出金5億4,000万円、これが新たに羽黒にできるライスセンターの費用として計上されておりますが、全員協議会資料を見ますと、全てこれ国、県からのお金そのまま行くような形になっておりますが、なぜこれが犬山市を経由していくのか質疑いたします。

◎議長（柴田浩行君） 当局の答弁を求めます。

新原経済環境部長。

◎経済環境部長（新原達也君） ご質疑にお答えします。

国の当該補助金の交付要綱では、県から取組主体への直接交付の場合と、市町村経由の場合のどちらも対応できるようになっております。愛知県は市町村経由する類似の補助金の交付要綱に、今回の新しい補助金を付け足す形で要綱を整備したため、市を通して取組主体へ補助金を交付することとなります。

したがいまして、市での予算化は制度上必要になるということでございます。

◎議長（柴田浩行君） 鈴木議員。

◎13番（鈴木伸太郎君） 制度上、そういう市を経由していくというふうに理解しました。再質疑です。

これは、市は恐らくこれ資料を見ていると、1円も出さなくてというようなふうだと思うんですが、これは市に新しく農業施設、大きな農業施設ができる、農業に携わる人間としては、犬山の農業の新しい可能性を感じるというところもあって、だけど、これ市のほうは特にお金の負担はなくていいという、そういう制度なんでしょうか。そこら辺、確認させてください。再質疑です。

◎議長（柴田浩行君） 答弁を求めます。

新原経済環境部長。

◎経済環境部長（新原達也君） 今回の補助制度については、国がまず施設、設備の2分の1補助する、50%、あと、その施設を加速化、要は早く造っていくことに対して、県と国で10%の上乗せがある。トータル60%の補助が出るという形になりますので、市のほうはそこまで市が単独でまた出すということは考えておりません。

◎議長（柴田浩行君） 他に質疑はございませんか。

〔「なし」の声起る〕

◎議長（柴田浩行君） 質疑なしと認めます。

よって、第2類、第27号議案に対する質疑を終わります。

続いて、第3類、第28号議案から第33号議案までに対する質疑を行います。

ご発言を求めます。

〔「なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 質疑なしと認めます。

よって、第3類、第28号議案から第33号議案までに対する質疑を終わります。

これをもって議案に対する質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案を配付いたしました議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託いたします。

*****

令和7年2月定例議会常任委員会

付託議案一覧表

《総務委員会》

第1委員会室

議案番号	件名
第5号議案 第6号議案 第7号議案 第27号議案	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 犬山市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について 犬山市職員の給与に関する条例等の一部改正について 令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号） 第1条の第1表 歳入歳出予算補正中 歳入 総務委員会の所管に属する歳入 歳出 1款 議会費 2款 総務費 6款 商工費（2項観光費のうち2目友好交流費） 8款 消防費 第3条の第3表 繰越明許費補正中 2款 総務費 第4条の第4表 債務負担行為補正中 総務委員会の所管に属する事項 第5条の第5表 地方債補正

議案番号	件名
第27号議案	令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号） 第1条の第1表 歳入歳出予算補正中 歳入 民生文教委員会の所管に属する歳入 歳出 3款 民生費 4款 衛生費（1項保健衛生費） 9款 教育費 第2条の第2表 継続費補正 第3条の第3表 繰越明許費補正中 3款 民生費 第4条の第4表 債務負担行為補正中 民生文教委員会の所管に属する事項
第28号議案	令和6年度犬山市犬山城費特別会計補正予算（第3号）
第30号議案	令和6年度犬山市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第31号議案	令和6年度犬山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

議案番号	件名
第27号議案	令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号） 第1条の第1表 歳入歳出予算補正中 歳入 建設経済委員会の所管に属する歳入 歳出 4款 衛生費（1項保健衛生費を除く） 5款 農林業費 6款 商工費（2項観光費のうち2目友好交流費を除く） 7款 土木費 10款 災害復旧費 第3条の第3表 繰越明許費補正中 4款 衛生費 5款 農林業費 7款 土木費
第29号議案	令和6年度犬山市木曾川うかい事業費特別会計補正予算（第3号）
第32号議案	令和6年度犬山市水道事業会計補正予算（第3号）
第33号議案	令和6年度犬山市下水道事業会計補正予算（第3号）
第34号議案	犬山市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部改正について

*****

続いて申し上げます。ただいま付託いたしました議案審査のため、これより各委員会が開

催されますので、暫時休憩いたします。

午前10時15分 休憩

再 開

午前11時40分 開議

◎議長（柴田浩行君） 休憩前に引き続き、本会議を再開いたします。

各常任委員長に委員会の審査結果報告を求めます。

最初に、岡村総務委員長。

〔総務委員長 岡村君登壇〕

◎総務委員長（岡村千里君） 総務委員会の審査結果をお手元に配付いたしました審査結果報告書の朗読をもって報告としたいと思います。

別紙、総務委員会審査結果報告書朗読。

◎議長（柴田浩行君） 総務委員長の報告は終わりました。

続いて、久世民生文教委員長。

〔民生文教委員長 久世君登壇〕

◎民生文教委員長（久世高裕君） 民生文教委員会の審査結果の報告を報告書の朗読をもってかえさせていただきます。

別紙、民生文教委員会審査結果報告書朗読。

◎議長（柴田浩行君） 民生文教委員長の報告は終わりました。

続いて、小川建設経済委員長。

〔建設経済委員長 小川君登壇〕

◎建設経済委員長（小川清美君） 審査結果について、お手元の報告書の朗読をもってかえさせていただきます。

別紙、建設経済委員会審査結果報告書朗読。

◎議長（柴田浩行君） 建設経済委員長の報告は終わりました。

*****

総務委員会審査結果報告書

令和7年2月27日

犬山市議会議長

柴田浩行様

総務委員長

岡村千里

審査年月日 令和7年2月27日

場 所 第1委員会室

出席委員 5名（全員）

付託議案

第5号議案 犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

第6号議案 犬山市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

第7号議案 犬山市職員の給与に関する条例等の一部改正について

第27号議案 令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）

第1条の第1表 歳入歳出予算補正中

歳入 総務委員会の所管に属する歳入

歳出 1款 議会費

2款 総務費

6款 商工費（2項観光費のうち2目友好交流費）

8款 消防費

第3条の第3表 繰越明許費補正中

2款 総務費

第4条の第4表 債務負担行為補正中

総務委員会の所管に属する事項

第5条の第5表 地方債補正

本日 本会議において、当委員会に付託されました上記議案について慎重審査いたしました結果、第5号議案から第7号議案まで及び第27号議案については、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

*****

民生文教委員会審査結果報告書

令和7年2月27日

犬山市議会議長

柴田浩行様

民生文教委員長

久世高裕

審査年月日 令和7年2月27日

場 所 第2委員会室

出席委員 6名（全員）

付託議案

第27号議案 令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）

第1条の第1表 歳入歳出予算補正中

歳入 民生文教委員会の所管に属する歳入

歳出 3款 民生費

4款 衛生費（1項保健衛生費）

9款 教育費

第2条の第2表 継続費補正

第3条の第3表 繰越明許費補正中

3款 民生費

第4条の第4表 債務負担行為補正中

民生文教委員会の所管に属する事項

第28号議案 令和6年度犬山市犬山城費特別会計補正予算（第3号）

第30号議案 令和6年度犬山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

第31号議案 令和6年度犬山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

本日 本会議において、当委員会に付託されました上記議案について慎重審査いたしました結果、第27号議案、第28号議案、第30号議案及び第31号議案については、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

*****

建設経済委員会審査結果報告書

令和7年2月27日

犬山市議会議長

柴田浩行様

建設経済委員長

小川清美

審査年月日 令和7年2月27日

場 所 第3委員会室

出席委員 6名（全員）

付託議案

第27号議案 令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）

第1条の第1表 歳入歳出予算補正中

歳入 建設経済委員会の所管に属する歳入

歳出 4款 衛生費（1項保健衛生費を除く）

5款 農林業費

6款 商工費（2項観光費のうち2目友好交流費を除く）

7款 土木費

10款 災害復旧費

第3条の第3表 繰越明許費補正中

4款 衛生費

5款 農林業費

7款 土木費

第29号議案 令和6年度犬山市木曾川うかい事業費特別会計補正予算（第3号）

第32号議案 令和6年度犬山市水道事業会計補正予算（第3号）

第33号議案 令和6年度犬山市下水道事業会計補正予算（第3号）

第34号議案 犬山市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部改正について

て

本日 本会議において、当委員会に付託されました上記議案について慎重審査いたしました結果、第27号議案、第29号議案及び第32号議案から第34号議案までについては、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しましたので、報告いたします。

*****

◎議長（柴田浩行君） 以上で、各常任委員長の報告は終わりました。

これより、各常任委員長に対する質疑を行います。

ご発言を求めます。

〔「なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

通告による討論はありませんので、討論は省略いたします。

これより採決を行います。

最初に、第5号議案、犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第5号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第6号議案、犬山市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第6号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第7号議案、犬山市職員の給与に関する条例等の一部改正についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第7号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第27号議案、令和6年度犬山市一般会計補正予算（第8号）を採決いたします。

本案に対する各委員長の報告は可決であります。本案は各委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第27号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第28号議案、令和6年度犬山市犬山城費特別会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第28号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第29号議案、令和6年度犬山市木曾川うかい事業費特別会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第29号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第30号議案、令和6年度犬山市介護保険特別会計補正予算（第2号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第30号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第31号議案、令和6年度犬山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第31号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第32号議案、令和6年度犬山市水道事業会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第32号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第33号議案、令和6年度犬山市下水道事業会計補正予算（第3号）を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第33号議案は原案のとおり可決されました。

次に、第34号議案、犬山市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部改正についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり、これを決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声起こる〕

◎議長（柴田浩行君） 異議なしと認めます。よって、第34号議案は原案のとおり可決されました。

*****

◎議長（柴田浩行君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日2月28日から3月3日までは議案精読のため休会とし、3月4日午前10時から本会議を再開いたしまして一般質問を行います。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時52分 散会